

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	カゴメ株式会社 富士見工場							
代表者名	氏名	吉田 智之	役職名	工場長				
主たる事務所の所在地	長野県諏訪郡富士見町富士見2150番地							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	09 食料品製造業						
主たる事業の概要	濃縮果汁によるジュース製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	3,833	kl	その他ガス排出量合計	57.6	t-CO ₂	自動車の台数	2	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	工場事務所への来場者への公表 ・担当：製造課生産技術係（0266-62-3111） ・閲覧可能時間：8:30～17:00（土日祝日以外）
<input type="checkbox"/>	その他	

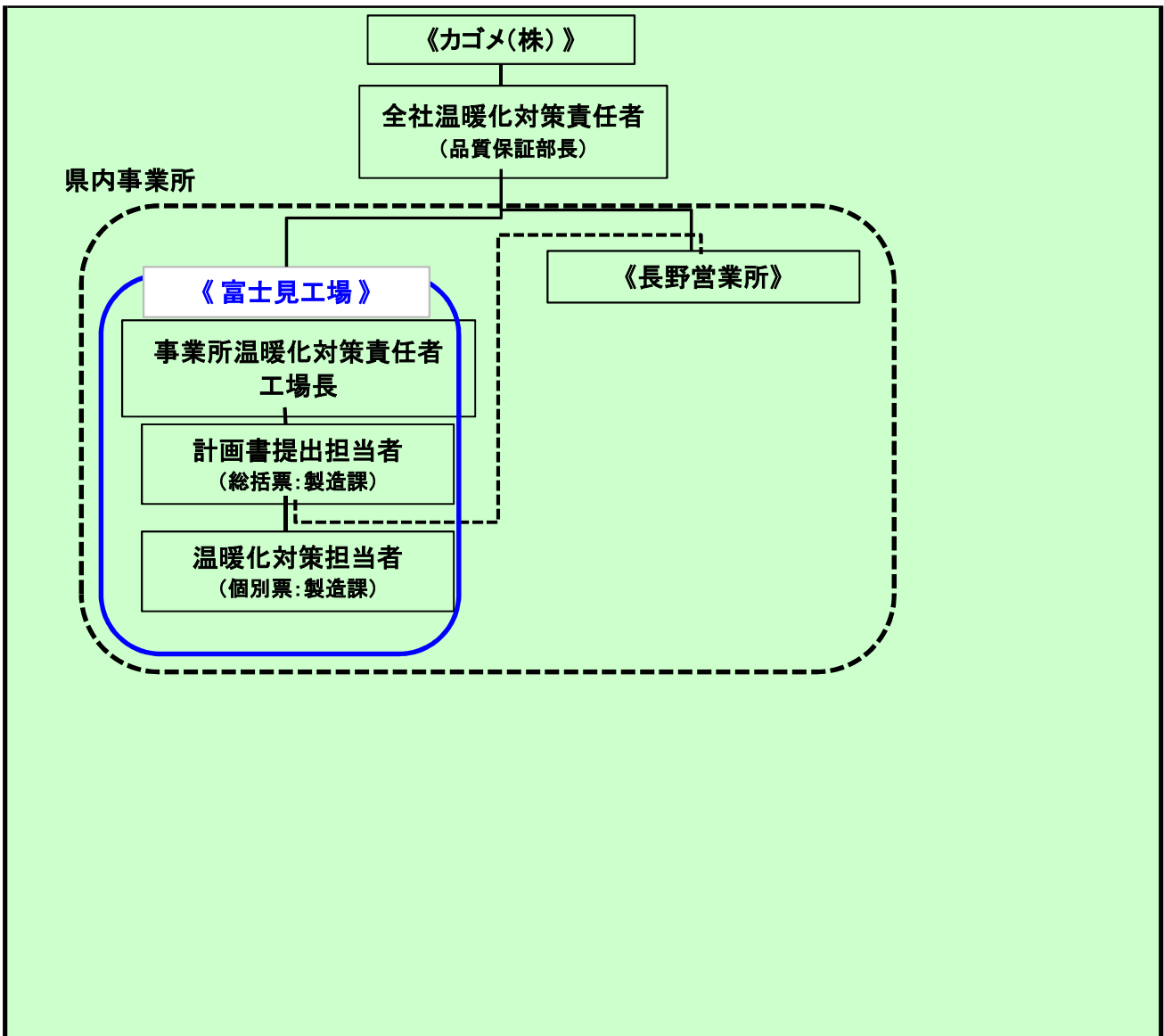
4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

カゴメ株式会社富士見工場は、「野菜飲料を国民健康飲料に育成する」ことを事業基盤として、様々な野菜を生み出す信州・富士見高原のすばらしい自然に感謝し、この自然環境と調和のとれた企業活動を続けるために、環境に配慮した継続的な改善活動を次のとおり推進いたします。

(1) LNG及び電力などのエネルギー使用量削減を推進し、地球温暖化につながるCO2の排出抑制を図ります。

(2) 設計及び生産工程改善と分別収集やリサイクル率向上により、廃棄物の低減を図ります。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	7,047	t-CO ₂	仕掛量	89	単位	千KL	
25年度	調整後排出量	5,994	t-CO ₂	基準原単位	78.77	t-CO ₂ /	千KL	
目標年度	目標排出量	6,835	t-CO ₂	目標原単位	76.40	t-CO ₂ /	千KL	寄与度の合計から求めた目標削減率*
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	3年間で原単位削減3%を達成する							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	6,910	t-CO ₂	仕掛量	87.24	単位	千KL	
	調整後排出量	6,881	t-CO ₂	原単位	79.21	t-CO ₂ /	千KL	寄与度の合計から求めた実績削減率*
26年度	削減率	1.94	%	削減率	(0.56)	%		
排出量等の増減理由	大型冷凍機の更新により、電気使用量が削減された事による。							
第二年度	排出量	7,058	t-CO ₂	仕掛量	90.74	単位	千KL	
	調整後排出量	7,037	t-CO ₂	原単位	77.78	t-CO ₂ /	千KL	寄与度の合計から求めた実績削減率*
27年度	削減率	(0.16)	%	削減率	1.25	%		
排出量等の増減理由	LED化の推進を行ったが、生産ラインの増設やそれに伴うトラブルにより、排出量が増加する結果になった。							
第三年度	排出量	7,675	t-CO ₂	仕掛量	101.25	単位	千KL	
	調整後排出量	7,644	t-CO ₂	原単位	75.80	t-CO ₂ /	千KL	寄与度の合計から求めた実績削減率*
28年度	削減率	(8.92)	%	削減率	3.77	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	生産量が増大(静岡工場閉鎖分をカバー)により、排出量は増加。原単位は下がっている。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	51	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	1	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	320207 ボイラーの給水およびブロー管理	26	85		
2	エネ起	320208 蒸気供給の管理	26	10	26	10
3	エネ起	320351 蒸気配管系の断熱強化	26	35	26	35
4	エネ起	380752 LEDの導入	26	47	26	47
5	エネ起	380752 LEDの導入	27	40	27	40
6	エネ起	320207 ボイラーの給水およびブロー管理			28	48
7	エネ起	360799 ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等に係るその他の削減対策			28	26
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	1053		29	21	31
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	7,034	1	6,898	1	7,046	1	7,664
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	13	1	12	1	12	1	11
合計	2	7,047	2	6,910	2	7,058	2	7,675

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄	15.44	15.25	15.94	17.06
N ₂ O	35.67	35.95	36.24	40.55
HFC				
PFC				
SF ₆				
合計	51.11	51.2	52.18	57.61

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	0	0	0	0
自動車総数	2	2	2	2
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率100% (公共交通機関より離れておりマイカー以外の通勤は困難)
公共交通機関の利用促進	県外出張は公共交通機関を利用し、回数券を支給する。
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001認証	2001年 (富士見工場)
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	アイドリングストップと急加速・急ブレーキの撲滅
第一年度実績	アイドリングストップと急加速・急ブレーキの撲滅へ向けた社内教育実施
第二年度実績	出張時の公共交通機関利用の啓蒙
第三年度実績	カゴメの森保全事業、入笠山植栽ボランティア参加

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	大型冷凍機から小型高効率冷凍機への転換	103
その他	照明のLED化順次実施	14